

しなののうた

時ならぬ彼岸近くに降る雪を術なきままに眺めておりぬ



杉田小百合

しなののうた

くねくねと曲がる坂道下りきて今年も買いぬ桜団子を

杉田小百合



しなののうた

バス停に雲上殿の名のあるは城ありし日の名残り留むか



杉田小百合

しなののうた

坂上に立ちて眼下を見渡せば  
私の住む町霞みて見えり

杉田小百合



しなののうた

桜坂歩いて下るは我らのみ赤い車が追い越しゆきぬ

l.MI

杉田小百合